

2025 年 12 月 25 日

株式会社アインホールディングス
代表取締役社長 大谷 喜一
(コード 9627: 東証プライム市場 札証)

アイングループのマテリアリティ(重要課題)の見直しについて

アイングループは、「この街にアインがあってよかった」と感じていただける企業の実現に向け、2020 年にマテリアリティを特定し、サステナビリティ経営に取り組んできました。今回、新たな社会課題の顕在化等による外部環境の変化とアイングループ中長期ビジョン「Ambitious Goals 2034」(以下、中長期ビジョン)の公表を踏まえ、当社グループが取り組むべきマテリアリティを見直しましたので、お知らせいたします。

この度、関連する国際基準やガイドライン、ESG 評価機関からの要請、日本や業界特有の社会課題を改めて幅広く検討しました。抽出した課題に対して、企業理念、中長期ビジョンとの整合や、社員、未来世代、有識者の意見等を参考に、当社グループへの影響とステークホルダーからの期待、要請の両方の視点から検討し、マテリアリティを見直しました。

その結果、これまでのマテリアリティの内容に関する種々の修正と、「健全な経営基盤」の中にあった「社員の成長と活躍」を新たに独立したマテリアリティとして位置付けることにいたしました。当社グループでは、これまでも人的資本経営に積極的に取り組んでまいりました。しかし、多様なステークホルダーとの対話を通じ、中長期ビジョンの達成のためには、社員の成長と活躍が必要不可欠であると確認されたことを踏まえ、当社グループの姿勢や取り組みを改めて明確化したものです。

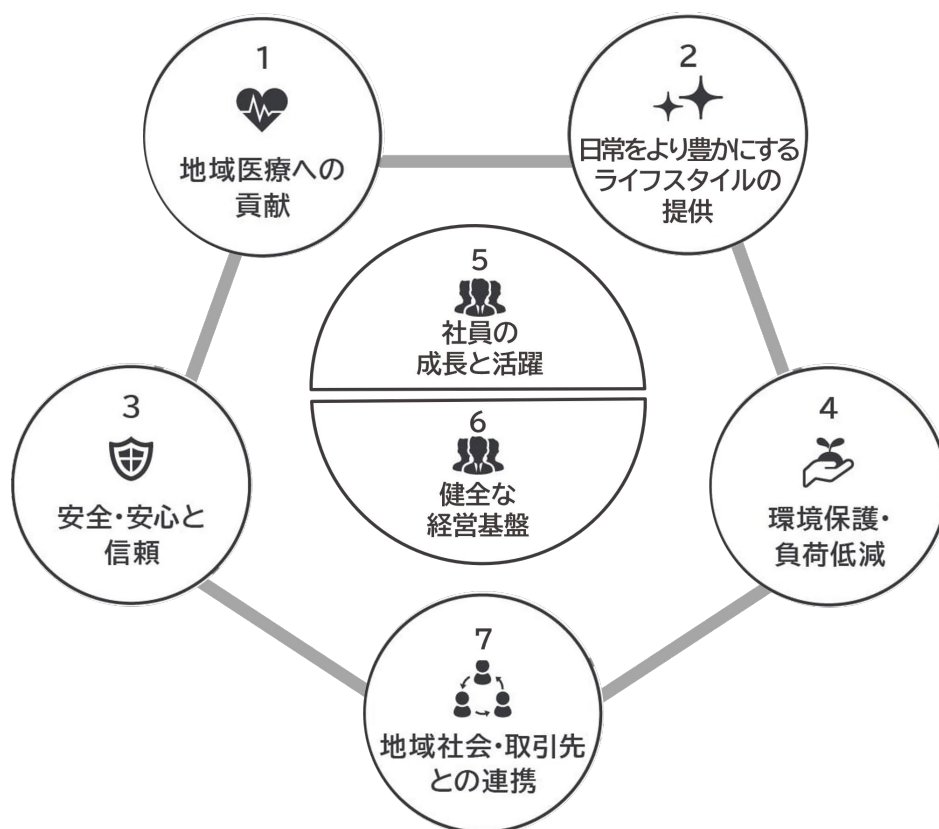
見直したマテリアリティに基づく各取り組みは、2027 年 4 月期より開始いたします。

当社グループは、人々の健康や日常の豊かさに貢献する事業を通じ、グループ・ステートメントでもある「お客さまの元気と笑顔」を実現し続けるため、良識と倫理観を持った企業活動を行ってきました。これからも、お客さまをはじめ、多様なステークホルダーの皆さまのことを考え、自ら変えし行動することで、企業の持続的な成長と、社会・環境・経済価値を創出し、サステナビリティ経営を実現します。

■ 当社グループのサステナビリティに関する取り組みの詳細は、下記よりご覧いただけます。

- ・ 当社グループウェブサイト サステナビリティトップ: <https://www.ainj.co.jp/corporate/sustainability/>
- ・ 統合報告書 2025 : <https://www.ainj.co.jp/upload/integratedreport2025.pdf>
- ・ ESG データブック 2025 : https://www.ainj.co.jp/upload/esgdata_2025.pdf

■当社グループ7つのマテリアリティ(2027年4月期～)



マテリアリティ	ありたい姿(KGI)
1.地域医療への貢献 確かな専門性と、人と深く関わる力で、一人ひとりの健康への願いを支える地域のかかりつけ薬局として「地域全体で治し、支える」医療に貢献する	高齢化及び医療の高度化により薬物治療が複雑化する中、地域住民の平等かつ持続的な、健康で豊かな生活の実現に貢献している
2. 日常をより豊かにするライフスタイルの提供 もっと素敵な今日が見つかる小さなワクワクのつまったLife&Style ストアとして「自分らしい」日常の実現に貢献する	洗練された商品を楽しく選べる場を提供し、現代社会において高感度なライフスタイルの実現に貢献している
3.安全・安心と信頼 日々の業務を通じて、安全・安心と信頼を届ける	個人情報保護を含めた安全と安心を最優先に商品・サービスを提供し、患者さま・お客さまと強い信頼関係を築いている
4.環境保護・負荷低減 環境保護及び負荷低減へ貢献する	事業活動にかかわる地球環境の持続可能性を追求し、環境保護に努めるとともに、環境負荷の最小化に取り組んでいる

5. 社員の成長と活躍 事業成長の源泉である多様な人材の力を最大化する	心身ともに健康で、多様に活躍できる環境を創造し、社員の自律と成長を支援することで、企業価値向上を実現している
6.健全な経営基盤 健全な経営基盤を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ・誠実で公正な企業文化の継承と、すべての人の人権を尊重する姿勢を共有価値とし、組織の結束が強化されている ・組織全体の生産性を高めるとともに、競争優位性を強化することで、変化する市場環境に対応している ・情報セキュリティをより強固にし、確実な運用で AX[*]の推進による業務の効率化と企業価値向上に貢献している ・企業活動を行う上での基本原則であるコンプライアンスを徹底し、公正な事業運営を遂行している ・災害やパンデミック等にも揺るがない事業継続力を備え、地域のインフラとしての役割を果たしている ・グループ全体のコーポレート・ガバナンスを強化し、透明性が高く健全な経営を行っている
7.地域社会・取引先との連携 地域コミュニティ及びサプライチェーンとともに、健康な社会づくりとサステナビリティ活動を推進する	地域とのコミュニケーションとサプライチェーンとの協働により、さらなる企業価値向上を実現している

^{*}AX(AI トランスフォーメーション): AI を活用して業務プロセスやビジネスモデルを革新し、競争力を高める取り組み

以上